

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	5 6 8
		決裁期日	平成 2 5 年 1 0 月 1 5 日
名 称	文化財保護委員会 会議		
日 時	平成 2 5 年 1 0 月 1 5 日 1 3 時 3 0 分 ~ 1 4 時 1 5 分		
場 所	公民館 第 1 研修室		
出席者	文化財保護委員 9名（北川委員欠席） 教育委員会：服部教育長、野崎教育振興課長、鈴木主幹 川久保主査、水野施設管理業務員		
内 容	<p>別紙のとおり。</p> <p>教育長の挨拶後、4月の人事異動に伴う補欠委員2名（長谷上高長、古川東中小高長）に文化財保護委員委嘱状の交付を教育長より行った後、新委員から自己紹介願った。</p> <p>昨年の会議において委員長選任されている三好委員長に議事進行を願った。</p> <p><報告事項></p> <p>1 整備関係</p> <p>事務局より郷土館排水溝整備と郷土館屋根・外壁改修工事について報告した。</p> <p>意見・質疑等なく、了承。</p> <p>2 開館関係</p> <p>事務局より、郷土館日曜開館実施と来館者状況並びに9月末現在における郷土館と開拓記念館入館者数状況について報告した。特に、郷土館日曜開館にあたっては138名の来館があったが、約半数は9月8日に全道フットパス in かみふらのが開催され、関係者で、残りの来館者の1/4が町内者、3/4が町外者の来館者であることを説明した。</p> <p>また、両館とも昨年1年間の来館者数を上回る状況となっていることも報告した。</p> <p>日曜開館ボランティアでもある羽賀委員より、日曜開館に喜びの声があったとの意見が出され、次年度における扱いを今後、協力いただいたボランティアの皆さんの意見等を聞き、対応・検討する考えを示した。</p> <p>その他、意見・質疑等なく、了承。</p> <p>3 事業関係</p> <p>事務局より本年度6回目となる協力事業の「トカチルッチシ伝承堅雪フットパス」について、主催者であるトカチルッチシを歩く会代表の山谷さんから29名の参加があったことを報告。</p> <p>また、本年度初めて郷土をさぐる会と共催した『郷土探訪研修会』について報告した。</p>		

内容

田中委員から研修内容についての事前協議の必要性の意見が出されたが、当面は郷土をさぐる会に企画立案をお願いし、町は交通手段(バス)の確保をするという役割分担した中で進めていくことの回答に、了承。

また、三原委員からは、次年度は同じ「三重団体移住ルートをさぐる」をテーマに、小樽市、南幌町、岩見沢市への研修を予定しているとの報告があった。

その他、意見・質疑等なく、了承。

<協議事項>

1～4について、一括事務局より説明。

郷土館特別展示については、「ふるさと学び舎展」を開催し、現存学校と統廃合された校舎等を紹介する企画を提案。

かみふらの10大ニュースについても資料保存を兼ねて例年同様に町民の選考応募により決定することを説明した。

次に、郷土館展示スペース整備について、新年度における整備検討資料を提示し、現地視察時での意見をもらうこととし、説明を行った。

三原委員から、学校資料の保存を進めていくべきではないかとの意見が出された。

学校資料については、学校での保管になる。

基本的に統廃合される学校は、統合される学校において保存等されているべきことであるので、現在、学校にある資料等しか保存されていないものと推測する。今後において統廃合される学校にあっても、同様の扱いとなるが、保存(引継ぎ)されるべき資料等は各学校によるものと思われる。

一般的に、あってはしかるべきものがなかったり、あつたりする学校があると思われるので、今後の検討課題ということで、協議した。

他に意見・質疑等なく、了承。

その他として、委員長から今後の事業実績報告を年度末までに各委員に資料送付することの確認を行い、現地視察へ移動した。

現地視察は、郷土館地下室と2階展示室、開拓記念館の館内視察を行い、文化財保護委員会を終了した。(帰庁時間15:15)

※郷土館1階ラウンジ(玄関ホール)に設置されている資料映像視聴用29型TVテレビについて、更新提言があった。

※郷土館2階の展示スペース整備であるが、現在予定している壁延長の改修ではなく、展示スペース中央通路に展示ケースも兼ねた年表表示(板)を設置した方が、予算及び将来性においても良いのではないかとの意見が出されたので、事務局において検討することとした。